



4月度の
の御書

「諫暁八幡抄」

御文

只妙法蓮華經の七字五

字を日本国の一切衆生の

口に入れんとはげむ計り

なり

(御書585ページ)

意味

ただ妙法蓮華經の七字五

字を、日本の一切衆生(全て

の人)の口に入れようと(知

つてもらおうと)はげんでき

ただけである。

「自分から」の心でチャレンジしてみよう!

やあ! ボクはライオン博士のキング君。
2年生から6年生のみんな、進級おめでとう!
新入生のみんな、はじめまして! 入学おめでとう!
会えるのを楽しみにしていたよ。
みんなは「御書」って聞いたことはあるかな?
「御書」は日蓮大聖人が弟子に送られたはげましのお手紙や、仏法の正しさを伝えるために書かれた論文などをまとめた本のこと。
大聖人の思いが詰まった「御書」を学んでいけば、ボクたちも大聖人と同じ、勇気と負けじ魂の「獅子王」に成長できるんだ。
これから「獅子王御書」でいっしょに勉強していこうね。

今回の御文で大聖人は「みんなが幸せになるために、1人ももれなく「南無妙法蓮華經」と唱えるように、はげんできた」と語られているよ。
「はげむ」とは「自ら心を燃やして、一生けんめいに行動している」ということ。「自ら」、つまり「自分から」というところがポイントだよ。
みんなが幸せになるために「お題目を唱えること」が

大事だと分かった大聖人は、自分から立ち上がって行動を起こしていかれた。

「だれかに言われたから」でも「いやいやながら」でもなく、どこまでも「みんなを幸せに!」という「自分の心」を前進の力にして、仏法をひろめる生き方をつらぬかれたんだよ。

その行動によって、たくさんの人に仏法が伝わり、平和と幸福の道を開くことができたんだ!

この大聖人の「心と行動」を受け継いだのが創価学会だよ。学会の人たちも同じように、「このすばらしい仏法を多くの人に伝えたい!」と希望に燃えて行動して、世界中に広げていったんだ!

どんなことにも「自分の心」を燃やして「はげんで」いくのが、創価の「ししの心」だよ。

池田先生は語られているよ。
「大切なのは、挑戦する心です。その心が、自分の夢や希望を、明るい色で大きくえがいていくのです」
挑戦したこと、努力したことは全部、自分の成長につながっていくよ。ボクたちも勉強やスポーツ、読書やお手伝いなど、自分にできることに「ししの子」らしく、全力ではげんでいこう!